

令和5年度足立区子どもの未来応援活動団体支援事業補助金交付実績

■件数 8事業 ■交付実績合計額 2,434,000円

NO	団体名	事業名	事業概要	交付額
1	特定非営利活動法人 足立たすけあいワー カースつみき	放課後ひろばmaru	中学生までの子どもを対象に居場所を実施。スタッフは、毎回3人配置し、外で遊びたい子どもがいたら、1人見守りとして一緒に公園へ行く。宿題や折り紙、工作などそれぞれやりたいことを持ってきてもらい、必要があれば、宿題を見たり、絵本の読み聞かせをしたり、折り紙を一緒にする。また大人主導でワークショップを企画するのではなく、子どもたちのやりたいことに寄り添いワークショップを開催する。自分の声を実現する体験を通して、物事に対する意欲的な姿勢を育む手助けをする。去年から折り紙が得意な地域の方が不定期で参加、子どもたちと交流する。	122,000
2	NPO法人 女性を応援する SHINE	子どもの居場所&自然体 験学習	小学生の子どもを対象に、居場所の提供を実施。年12回の自然学習体験イベントを実施し、利用者同士の交流を図る。 ☆畑づくり体験 子ども達が畑を耕し、豆まきから草取りなどの世話、収穫しじっくり味わうまでの畑づくり体験をする。収穫物の調理や試食、フィードバックなどは駄菓子屋で行う。	800,000
3	NPO法人 女性を応援する SHINE	子どもの居場所&レゴ学 習体験	小学生の子どもを対象に居場所の提供を実施。また「レゴ」を用いた、遊びの中での目的をもった魅力的なハンズオン(実体験型)STEAM学習イベントをする事で、答えを間違えることの不安やたった一つの正解を探す必要性を、気にすることなく自信をもって学び、探し、「学ぶ喜び」を育む。また、事業開催日以外も対応できるよう公式LINEでも相談を受け付け、必要に応じて行政や関係機関、地域の他団体と連携を図る。	760,000

4	まほろば	子どもの居場所と発達を支える大人たちのネットワーク	区内の特別支援教室に通級する子どもたちの学校外の居場所として昨年6月に始めた。「発達障害」という名称は近年知られてきているが、子どもたちには苦しいことが多く、また保護者を含め周囲の人たちはどう接したらいいのかという具体的な情報が少なく、子ども本人も保護者や支援者たちも孤独感と不安を抱えている現状がある。幼児期には療育等もあるが小学校や中学校、高校になると支援方法も変わってくるため、年齢に応じた継続的な支援、相談を提供する場所というのは非常に重要だと感じている。行政にも支援はたくさんあるが、そこに自らアクセスできない人が多いのも現状である。行政の一步前の敷居の低い場所として手続きや申し込みのいらぬ間口の広い支援の入口も必要なのではないかと考えている。スタッフ全員が特別支援教育や心理を専門として現場で働いているため子どもたちも安心していられるという利点と、保護者や支援者が正しい情報を気楽に共有できる場となっている。	90,000
5	あだちデザインLABO	学習支援・アート体験ワークショップ事業	支援が必要な子育て世帯に向け、第三の子どもの学びの場を提供する。プロのイラストレーターを講師にデッサンやiPad・Macの操作に慣れ親しみ、アート体験や季節のイベントWSを楽しむ中で子どもの芸術的感性を引き出す活動とする。	104,000
6	特定非営利活動法人Chance For All	地域の誰もが自らの意思で訪れることのできる居場所	フリースペースを併設した駄菓子屋。運営は約100名が所属する大学生のボランティアチームが担っている。週6日～7日運営で平均1,500名/月の子どもたちが訪れてくれている。 フリースペースは駄菓子を購入しなくても誰でも無料で利用することができる。支援者の方から頂いたボードゲームやぬいぐるみ、漫画などが設置されており、遊び道具を持たずとも子どもたちが楽しめるようになってきている。また大学生スタッフが常に1人～3人ほどいて、子ども達と一緒に遊ぶこともあれば、普段の生活の悩みを聞くこともある。大人のように上の立場でもなく、友達のように横の立場でもない、大学生という斜めに緩くつながる特殊な関係だからこそ、大人には話にくいような、子どもたちそれぞれの「困り事の入り口」で、相談できるような場所となっている。	252,000
7	学習支援ボランティアAiroiro	家庭学習LINEでお助けサポート	LINE公式アカウント「家庭学習LINEでお助けサポート」で子どもやその保護者への学習支援活動を行っている。子どもや保護者からの質問を24時間365日受け付け、17時から23時の間に、メンバーが問題の解法やヒントなどを返信する。	6,000

8	がるまる	がるまるフードパントリーと体験事業	<p>【フードパントリー】 高校生以下の子どもとその保護者（55～120世帯）を対象に、食材などの提供を月2回以上、実施する活動を行なっている。（毎月第1第4木曜日・第3月曜日）</p> <p>【体験事業】 がるまるで食の支援を受けている子育て世帯を対象に体験事業を実施。参加申し込みが多い場合はひとり親家庭を優先する。 9月 東京湾納涼船体験（定員45名） 3月 施設見学と果物狩り体験（定員45名）</p>	300,000
---	------	-------------------	---	---------